

# 池子の森壊すな! 核兵器廃絶!

## 2006 国民平和行進

### 葉山町長、逗子市長らが歓迎、激励



15日、県内を進む平和行進が、葉山町と逗子市を通過し、地元の被爆者を先頭に米軍基地にむけて行進。池子ゲート前では「米軍住宅増設を許すな」「池子の森を壊すな」「基地をかえせ」と訴え、130人が参加しました。

出発式の葉山町役場前では、守屋大光町長、伊藤友子町議会議員から歓迎の挨拶がありました。

逗子市役所では、米軍住宅の追加建設を認めない裁判をたたかう長島一由市長が、参加者を激励しました。(2面メッセージ文)

午後は、鎌倉市内を行進。原爆碑や被災地の火をともし続ける「原爆の火」のある鎌倉市の大船観音で、被爆者と行進団による懇談会が行われました。

## 基地かえせ!市民行進

逗子50人、4日間で900人参加



米軍再編めぐり、地元自治体や住民を無視した日米両政府のやり方に対し、基地強化・恒久化を許さない県民の草の根の運動を示そうと、米軍基地を抱える自治体で「市民の行進」が取り组まれました。4月30日、労組、民主団体、被爆者、個人が参加。逗子市役所を出発、東逗子駅をまわり、池子ゲートまで行進しました。ビラを受け取った市民も「池子の森はかえしてほしい、日本はアメリカのいいなりの感じだ」「追加建設は反対です。皆さんの思いと一緒に」と声が寄せられました。

PEACE WAVE

原水爆禁止逗子市協議会ニュース

平和の波

2006年5月発行

No.103

逗子市逗子5-8-21 Tel.873-0739

# 長島一由市長のメッセージ

「被爆61年、核兵器廃絶2006年平和行進」にご参加の皆様のご取り組みに心から敬意を表します。

広島・長崎で原爆が投下されてから61年が経ち、戦争や原爆の記憶が風化しつつある中、世界各地では依然として紛争が絶えず、人々は未だに核の危機にさらされています。

今年は、チェルノブイリ原発事故20周年にあたり、世代を超えて影響する放射能被害とその恐ろしさについて世界中が再認識しています。

また、新聞やニュースでは、このような中、世界平和に対する自治体の役割は大変大きいものと認識しております。

本市は、平成2年から日本非核宣言自治体協議会に加盟し、平成16年には非核平和都市として宣言を行いました。また昨年は、文化プラザでイラクやアフガニスタンについての映画を上映し、市民の方々に戦争と平和について考えていただく機会を設けました。今年も、8月に市内中学生を被爆地の広島・長崎へ派遣するピースメッセンジャー派遣事業を実施いたします。

今後もいっそう多くの方に平和な社会の実現について考えていただけるよう努めるとともに、地域の皆さんが安心して暮らせるまちづくりに取り組んでまいりたいと思います。

最後に、この「被爆61年、核兵器廃絶2006年平和行進」のご無事と皆様のご健勝、ご活躍をお祈り申し上げます。

2006年（平成18年）5月15日

逗子市長 長島 一由

初めの一步から32年  
池子の森をかえせの声  
さあ、あなたも一步を

次回は  
392回

旧池子弾薬庫全面返還を要求する月例デモ行進



6月11日（日）

集合 11時（15分出発）  
JR逗子駅前（交差点付近）

↓  
到着 11時45分  
JR東逗子駅前（流れ解散）

※毎月第2日曜日です。奇数月は東逗子駅が出発、偶数月は逗子駅が出発場所となります。